

多核種除去設備等処理水希釈放出設備 および関連施設等の設置工事の進捗状況について

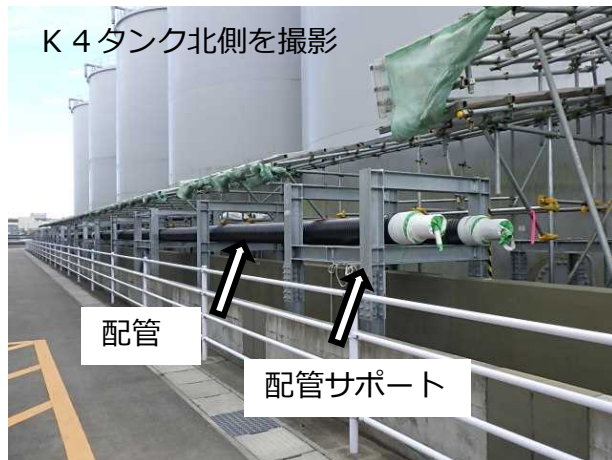
TEPCO

2022年9月12日
東京電力ホールディングス株式会社

1. 工事の実施状況

■ 測定・確認用設備／移送設備

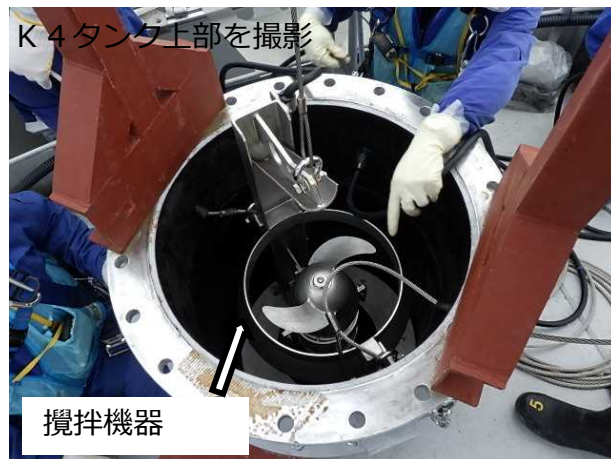
8月4日より、K 4 エリアタンク周辺から、測定・確認用設備、移送設備の配管サポート・配管他の設置工事を開始しています。



配管サポート・配管設置を実施中

- 【測定・確認用設備】
 - ・サポート設備
約165／約540m
 - ・配管設備
約82／1,000m
- 【移送設備】
 - ・サポート設備
約162／1,820m
<9/7現在>

循環配管・サポート設置の状況



攪拌機器設置を実施中

- 2／30台
(タンク内吊込)
<9/7現在>

攪拌機器設置の状況

■ 放水設備

8月4日より、シールドマシンにより岩盤層を掘進し、放水トンネルの構築を開始しています。

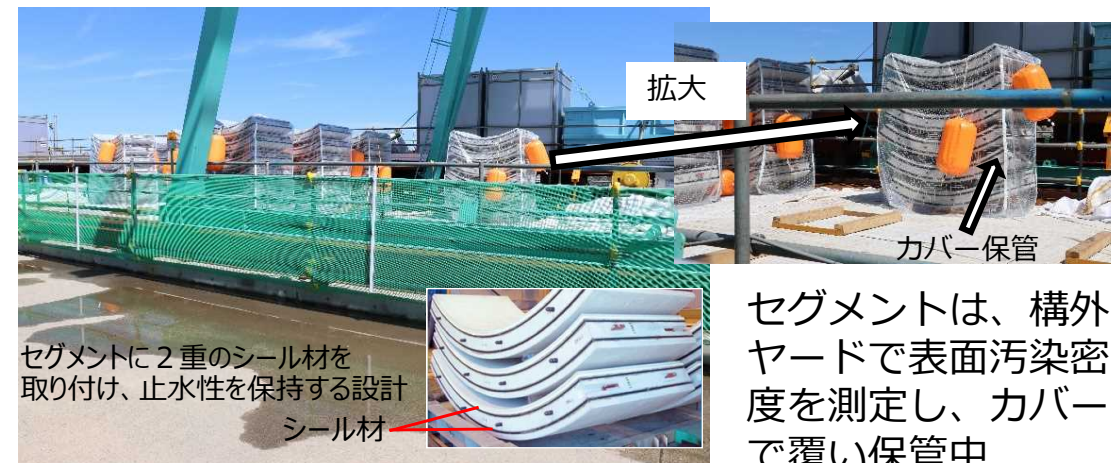


トンネル掘進を実施中

(初期掘進中※1)
約85m／約1,030m
<9/7現在>

※ 1 初期段階の掘進(約150m)は、掘進に必要な設備を連結する作業と交互に行うため、設備の連結完了後に比べて掘進の進捗は緩やかになる。

トンネル掘進の状況



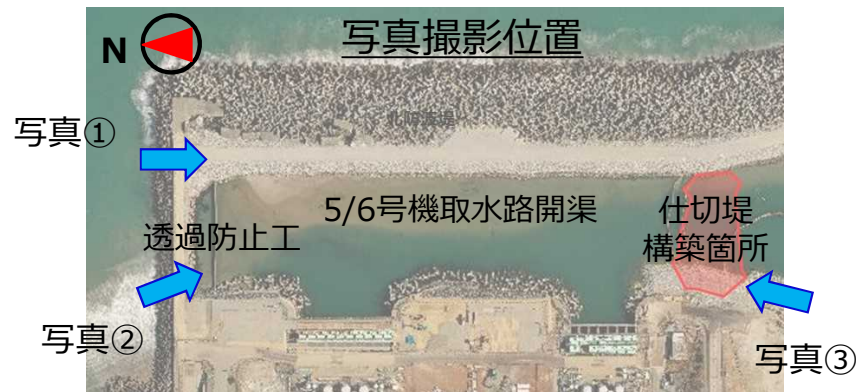
セグメントは、構外ヤードで表面汚染密度を測定し、カバーで覆い保管中

セグメント保管状況

1. 工事の実施状況（続き）

■ その他（仕切堤の構築他）

8月4日より、仕切堤設置工事に向けて、重機走行路整備等の準備工事を実施しています。今後、5・6号海側工事エリアでは、取水路開渠内の堆砂撤去を並行して行うとともに、仕切堤設置後には透過防止工の撤去を予定しています。



重機走行路整備の状況



※今後、港湾外から希釈用の海水を取水するため、北防波堤の透過防止工の一部を撤去する予定です。

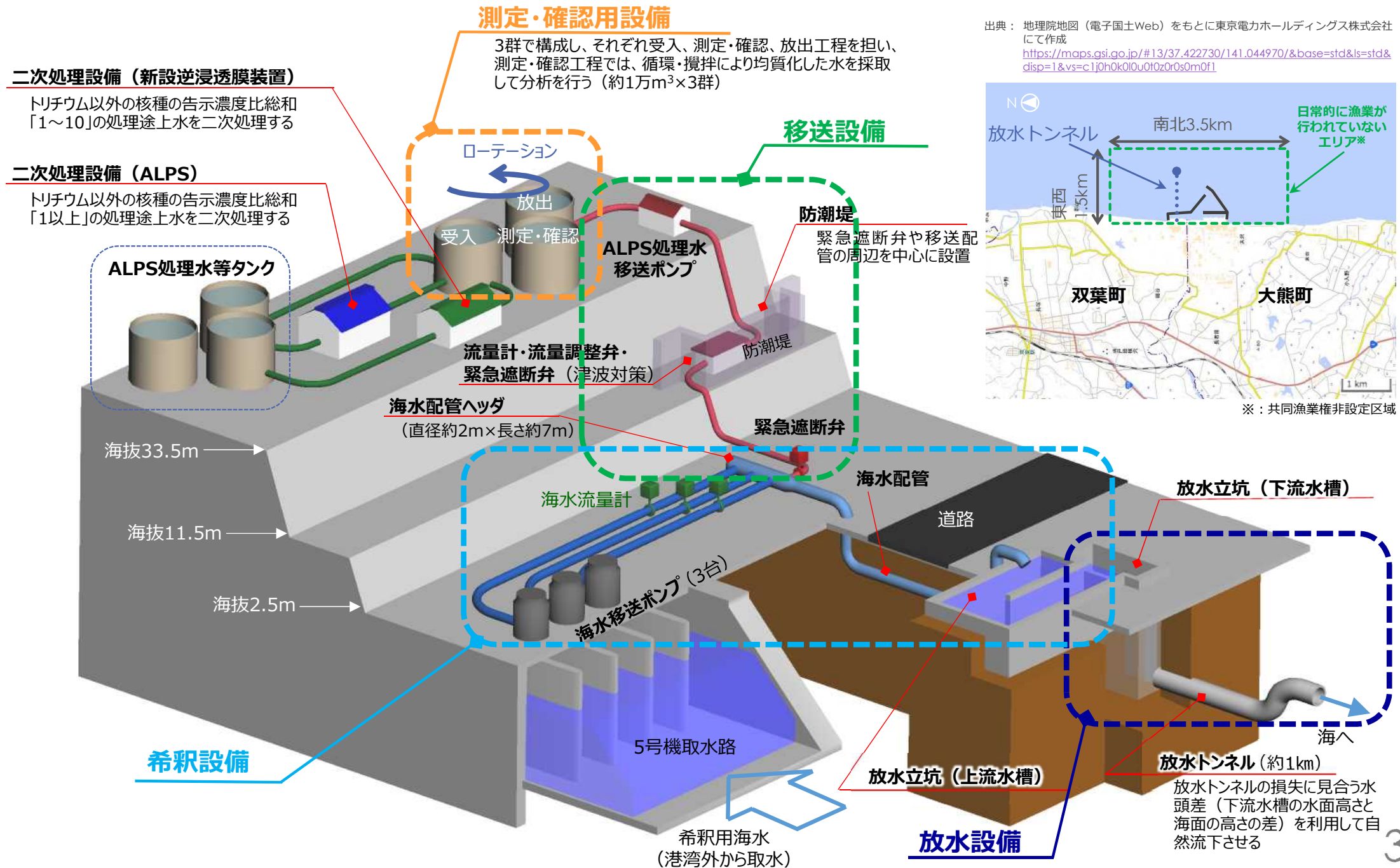


5・6号機海側工事エリアの状況

(参考) ALPS処理水希釈放出設備および関連施設の全体像

TEPCO

出典：地理院地図（電子国土Web）をもとに東京電力ホールディングス株式会社にて作成
<https://maps.gsi.go.jp/#13/37.422730/141.044970/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>



(参考) 放水トンネル

- 放水トンネルは、岩盤層を通過させるため漏洩リスクが小さく耐震性※に優れ、台風（高波浪）や高潮（海面上昇）の影響を考慮した設計としています。また、放水トンネルの損失に見合う水頭差（下流水槽の水面高さと海面の高さの差）を利用して自然流下させる設計（貝類の付着も考慮）としています。
- シールド工法（泥水式）を採用し、鉄筋コンクリート製のトンネル壁面材（セグメント）に2重のシール材を取り付けることで止水性を保持しています。

※ 原子力規制委員会で示された耐震設計の考え方を踏まえて設計

